

発行

下関市防災協会

下関市岬之町 17-1
☎ 083-233-9114

監修

下関市消防局
予 防 課



謹賀新年

年頭のごあいさつ



下関市防災協会
会長 島村 剛史



新年明けましておめでとうございます。
新たな元号での新春を迎え、会員の皆様方に謹んでお慶びを申し上げます。

平素は当協会の運営に際し、下関市消防局並びに会員事業所の皆様に多大なご指導ご支援を賜り心から感謝申し上げます。

さて昨年を振り返りますと、幸いにも下関市では特筆すべき災害は発生しておりませんが、全国的には、自然災害が猛威を振るい各地で甚大な被害が発生し、多くの犠牲者が出ております。特に関東地方を襲った2つの台風は、ライフラインに大きなダメージを与えただけでなく、90人を超える死者と過去最多の土砂災害数を爪痕として残しました。現在でも多くの方が仮設住宅などで不自由な生活を強いられている状況を鑑みますと、改めて災害への備えや防災意識の重要性を感じざるを得ません。

また、下関市消防局におかれましては、「組織機能の集約・再配置」や「潜水業務の開始」等消防体制の充実強化が図られ、更なる市民の安全安心な生活が確保されたものと認識しております。

当協会は、昭和30年に職域・地域における防火思想の普及高揚と災害防止を図ることを目的に設立され今年で65年となります。その間、下関市消防局の協力を得ながら防災推進のパートナーとして事業推進してまいりました。

本年も地域社会・会員事業所並びに行政と連携し、事業を積極的に展開して「安全・安心」の実現に取組んでまいりますので、皆様方の一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。

おわりに本年が災害のない平穏な年でありましますとともに、下関市消防局並びに会員事業所の皆様方の益々のご発展とご健勝をお祈り申し上げます、年頭のあいさつとします。

令和2年消防出初式挙行



新春を飾る恒例の下関市消防出初式が、去る1月11日(土)、下関市豊前田町、海峡メッセ下関及びオーヴィジョン海峡ゆめ広場周辺で挙行されました。オーヴィジョン海峡通りで消防職・団員、会員事業所自衛消防隊及び婦人防火クラブ員、幼年・少年消防クラブ員総勢1,160人、消防車両37台による分列行進が行われた後、会場を海峡メッセ下関に移して式典等が行われました。

式典では、前田市長の式辞に続き消防職・団員の永年勤続表彰と平素の防火管理や防火活動に多大な功績のあった方々の表彰が行われました。式典後は、消防団員による「海峡まとい太鼓」と消防職・団員による「はしご乗り演技」が披露され、令和2年消防出初式に華を添えて平穏な年を願う幕を閉じました。



受賞おめでとうございます

令和2年消防出初式で次の個人と団体に表彰状が贈られました。(敬称略)

下関市長表彰

【勤続表彰】

彦島製錬株式会社	自衛消防隊員	荒木 達也
コベルコ鋼管株式会社	自衛消防隊員	森重 貴雄
コベルコ鋼管株式会社	自衛消防隊員	末富 則之

【一般表彰】

(個人)

室町第一自治会	会長	鶴田 健二
小月校区子ども会少年少女消防クラブ	会長	網谷 吉次
六連島自治会	会長	武島 正文
吉見地区まちづくり協議会	会長	梅尾 俊行

(団体)

道の駅 北浦街道 豊北
一般社団法人 菊川スポーツクラブ



令和元年度下関市防災協会視察研修に参加して

神戸製鋼所 長府製造所 藤 本 美 鶴



まずは、今回の視察研修運営に携われた防災協会役員の方々、消防局の方々の事前準備を含めた運営に感謝申し上げます。

視察の内容として、まず初日に長崎県の軍艦島（端島）に上陸する予定でしたが、台風17号の影響で見学施設破損によりクルーザーからの視察となってしまいました。大変残念ではありましたが、隣の高島にある石炭資料館で軍艦島の歴史を学びました。その歴史は1810年に石炭が発見され、1974年に閉山と長きにわたるものでした。1890年に三菱重工業（当時の三菱合資会社）が経営をして以降、組織として、端島そのものを開拓され、当時の島の面積が現在の約半分であったことや社員とその御家族の住居となる日本初の鉄筋コンクリート造の高層集合住宅を建設された歴史に、いち製造業で働くものづくりをする人間として、率直に感動致しました。

夕食の懇親会では、会長様をはじめ防災協会・消防局の方々と環境防災や安全衛生などの各社の取り組み等、様々なお話をさせて頂きました。特に印象的な言葉として、シンプルではありますが、「分からない事があれば、聞いて

ね。」と言うお声を掛けて頂いた時、「共に労働災害をなくせば良いんだ。」と感じました。

二日目には、三菱重工業（株）長崎造船所史料館を視察致しました。館内には明治初期に製造された、海中を探索するために造られた泳気鐘や明治後期に製造された国産陸用蒸気タービンが、原型が明確に分かる形で展示されていました。また、史料館前で記念撮影を致しましたが、この史料館も当時木型場として、使われており現在も残っていることに当時の防災管

理や安全意識の高さが垣間見え、自身の今後の活動の参考とさせて頂こうと感じました。

今回の視察研修を通じて、多くを勉強させて頂きました。他企業で働く方々とも情報交換をはじめとした交流を持つことが出来ました。大変有意義な時間となりました。

最後にこのような機会を作って頂いた防災協会・消防局の方々に重ねて感謝申し上げます。ありがとうございました。



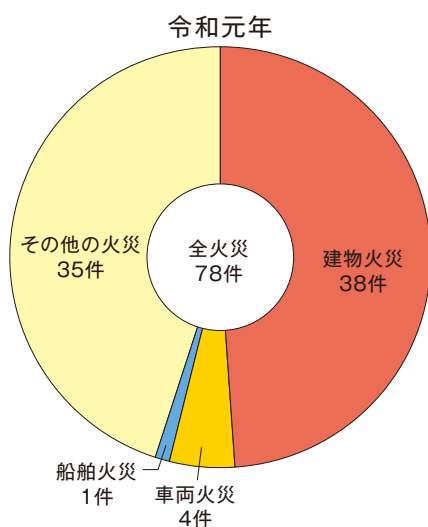
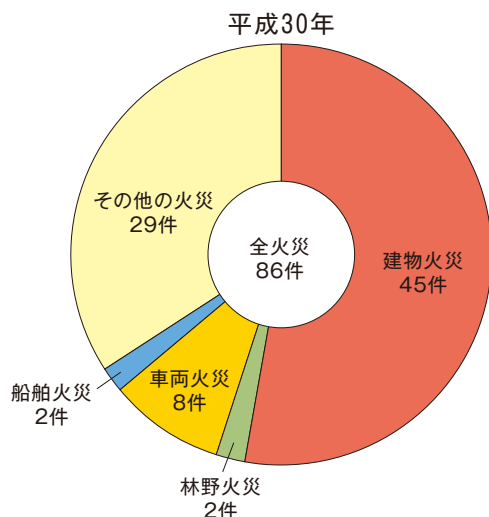
日本最古の工作機械

下関市火災発生状況 令和元年火災件数78件!

令和元年の火災件数は78件で、前年に比べて8件の減少となりました。
火災種別では建物火災が38件と全体の49%を占めています。
出火原因では、「たき火」「放火・放火の疑い」「たばこ」がワースト3となっています。

火災による死者は2人で、昨年に比べて1人減少しました。
火災の大半は、ちょっとした不注意や油断から起こっています。日頃から心がけ火災予防に努めましょう。

令和元年下関市火災概要



ホームページを開設しています!

下関市防災協会のホームページを開設し、当協会の最新情報や会報をお知らせするほか、消防法令の改正情報や各種試験・講習会の案内を掲載しております。

是非ともご利用くださいますようお願い申し上げます。

ホームページアドレス

<https://shimo-bou.jp>



事務局

だより

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

協会の運営につきまして、平素からご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。協会事務局といたしましては、本年も防火防災を推進し災害のない明るい地域づくりに努めてまいりますので、昨年同様に協会運営について、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

★会費納入のお願い

今年度も残すところわずかとなりました。まだ会費を納入されていない会員事業所におかれましては、年度内に納入していただきましますようよろしくお願い致します。

振込先やご不明な点等につきましては、協会事務局にお問い合わせをお願いいたします。

下関市防災協会

TEL 2333-19114